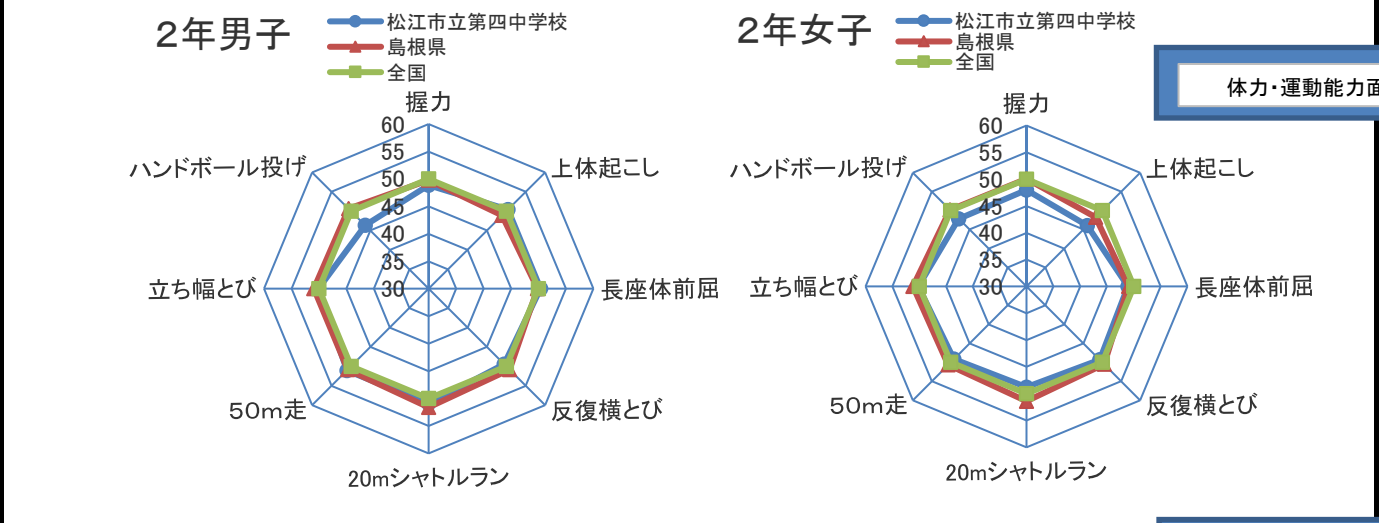
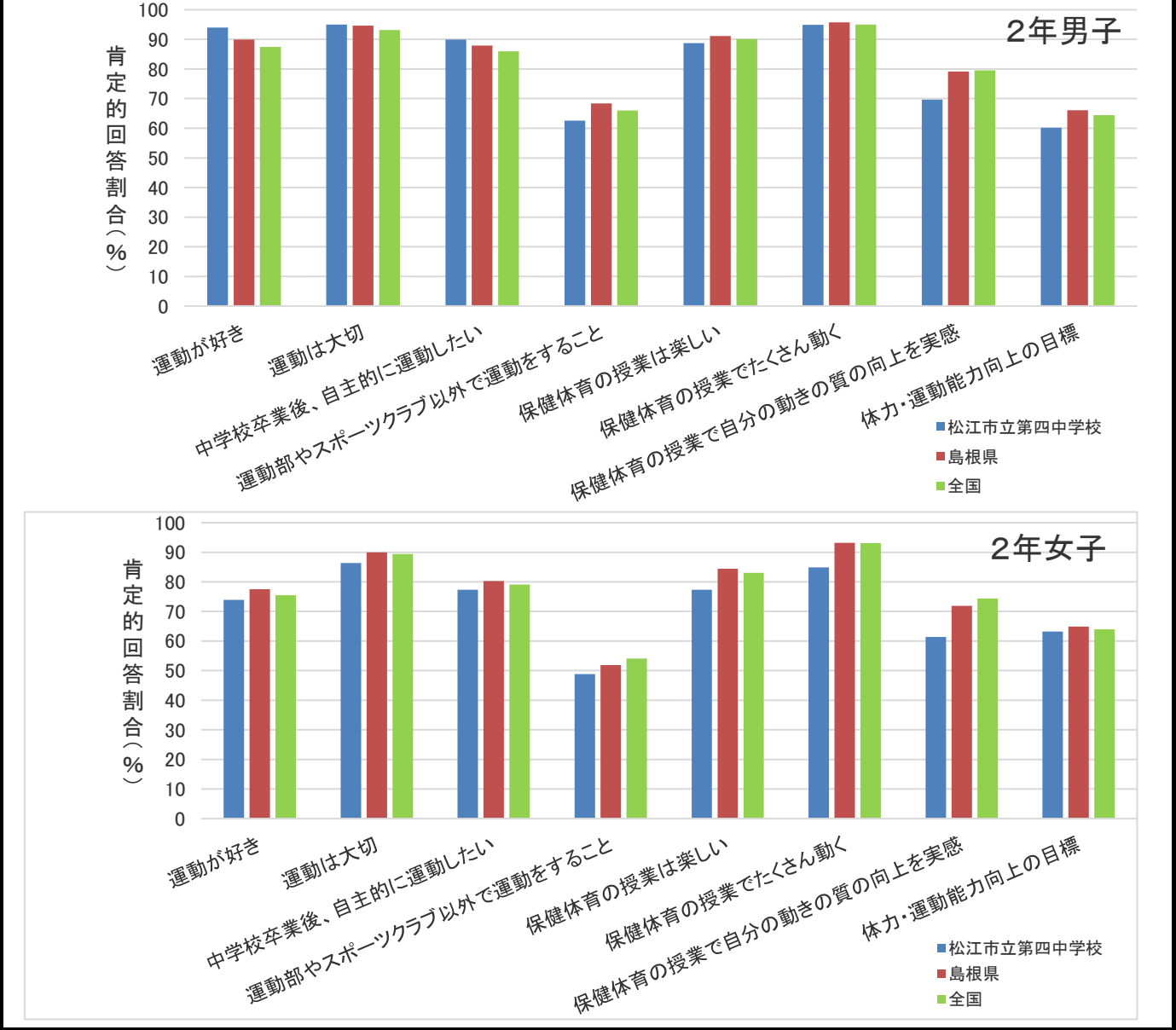


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2) 調査結果の分析



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



① 体力・運動能力面

強み
○男子では「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」が全国平均を上回っている。特に「走力」が強み。 ○女子では「立ち幅とび」が全国平均を上回っている。
課題
●男子では「握力」「反復横とび」「ハンドボール投げ」が全国平均を下回り、特に「巧緻性・投力」が課題。 ●女子では「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「ハンドボール投げ」において全国平均を下回り、特に「筋持久力」が課題。
次年度の対策
○持久力向上のため、月1回20mシャトルランを継続して行う。それに加え、シャトルランの成績上位者と学年平均を毎月発表(掲示)し、毎学期表彰を行いながら、さらに意欲の高揚を図る。

② 意識面

強み
○男子では「運動が好き」「運動は大切」「中学校卒業後、自主的に運動したい」の割合が全国平均よりも高い。
課題
●男子では「運動部やスポーツクラブ以外で運動すること」「保健体育の授業は楽しい」「保健体育の授業でたくさん動く」「保健体育の授業で自分の動きの質の向上を実感」「体力・運動能力向上の目標」の割合が全国平均よりも低い。 ●女子では「すべての項目」の割合が全国平均よりも低い。
次年度の対策
○特に「体力・運動能力向上の目標」を意識した授業改善、充実を図る。

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
○現在行っているウォーミングアップを継続する。細かい行い方を説明する。
○月1回20mシャトルランを継続する。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
○授業の中での体力づくりを継続するとともに、体を動かすことが楽しいと感じられるような授業改善を行う。(個人で形成的評価が行えるようワークシートを工夫するなど。)
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
○昼休みに体育館を開放し、体育委員会で運動を促す。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
○長期休業中に「運動」に関する課題を出すとともに「保護者記入欄」を設け、家庭でも運動に関する話題を共有していただけるよう工夫する。